Asset Management One

# 運 用 報 告 書（全体版）

## Ｏｎｅ世界分散セレクト（Ｃコース）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|---|---|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／資産複合 |
| 信託期間 | 2018年９月28日から無期限です。 |
| 運用方針 | 信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目的として、運用を行います。 |
| 主要投資対象 | 別に定める投資信託証券※と「ＤＩＡＭマネーマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。なお、別に定める投資信託証券については、適宜見直しを行います。<br>※別に定める投資信託証券：「Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅡ　Ａクラス」 |
| 運用方法 | 主として、わが国を含む世界の株式、債券、不動産投資信託証券、コモディティおよびそれらを投資対象とする上場投資信託証券（ＥＴＦ）を実質的な投資対象とする別に定める投資信託証券に投資します。なお、別に定める投資信託証券には、国内外の有価証券先物取引、オプション取引、スワップ取引等のデリバティブ取引および外国為替予約取引等を活用するものを含みます。<br>別に定める投資信託証券への投資割合は、原則として高位とすることを基本とします。<br>別に定める投資信託証券やその配分比率については、適宜見直しを行います。この際、投資対象として定められていた別に定める投資信託証券が投資対象から除外されたり、わが国を含む世界各国の様々な資産への分散投資に資すると判断される投資信託証券が新たな投資対象として定められることがあります。<br>１万口当たりの基準価額（過去に支払った収益分配金の金額は含みません。）が2,000円を下回った場合には、投資対象ファンドの売却を行い、一定期間後に繰上償還を行います。 |
| 組入制限 | 投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。<br>外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 |
| 分配方針 | 決算日（原則として毎年１月、３月、５月、７月、９月および11月の各15日。休業日の場合は翌営業日。）に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。<br>※第１期（2018年11月15日）の決算は収益分配を行いません。 |

<運用報告書に関するお問い合わせ先>
コールセンター：0120-104-694
受付時間：営業日の午前９時から午後５時まで
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

*愛称：100年ギフト*

第１期　<決算日　2018年11月15日>
第２期　<決算日　2019年１月15日>
第３期　<決算日　2019年３月15日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「Ｏｎｅ世界分散セレクト（Ｃコース）」は、2019年３月15日に第３期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

**アセットマネジメントOne株式会社**
東京都千代田区丸の内1-8-2
http://www.am-one.co.jp/

# Ｏｎｅ世界分散セレクト（Ｃコース）

## ■設定以来の運用実績

| 作成期 | 決算期 | 基準価額（分配落） | 税込み分配金 | 期中騰落率 | 投資信託受益証券組入比率 | 純資産総額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 第１作成期 | （設定日）2018年９月28日 | 円 10,000 | 円 － | % － | % － | 百万円 2,295 |
| | １期(2018年11月15日) | 9,619 | 0 | △3.8 | 96.4 | 2,769 |
| | ２期(2019年１月15日) | 9,289 | 120 | △2.2 | 99.6 | 3,602 |
| | ３期(2019年３月15日) | 9,540 | 120 | 4.0 | 95.4 | 4,043 |

（注１）設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。
（注２）基準価額の騰落率は分配金込みです。
（注３）当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。
（注４）「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。
（注５）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

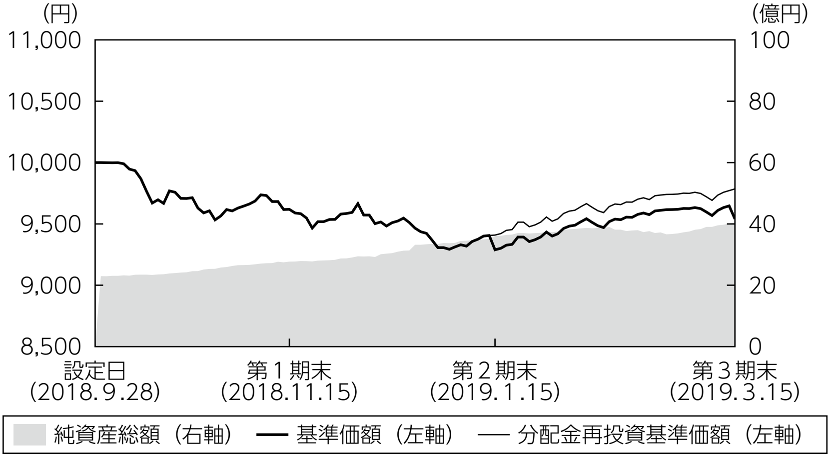
## ■当作成期中の基準価額の推移

| 決算期 | 年月日 | 基準価額 | 騰落率 | 投資信託受益証券組入比率 |
|---|---|---|---|---|
| 第１期 | （設定日）2018年9月28日 | 円 10,000 | % － | % － |
| | 10月末 | 9,617 | △3.8 | 96.7 |
| | （期末）2018年11月15日 | 9,619 | △3.8 | 96.4 |
| 第２期 | （期首）2018年11月15日 | 9,619 | － | 96.4 |
| | 11月末 | 9,585 | △0.4 | 99.5 |
| | 12月末 | 9,312 | △3.2 | 99.1 |
| | （期末）2019年1月15日 | 9,409 | △2.2 | 99.6 |
| 第３期 | （期首）2019年1月15日 | 9,289 | － | 99.6 |
| | 1月末 | 9,463 | 1.9 | 99.5 |
| | 2月末 | 9,617 | 3.5 | 99.4 |
| | （期末）2019年3月15日 | 9,660 | 4.0 | 95.4 |

（注１）設定日の基準価額は、設定当初の金額です。
（注２）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比（第１期は設定日比）です。
（注３）「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

## ■第１期～第３期の運用経過（2018年９月28日から2019年３月15日まで）

### 基準価額等の推移




設　定　日：　10,000円
第３期末：　 9,540円
（既払分配金240円）
騰　落　率：　 △2.2%
（分配金再投資ベース）

（注）設定日の基準価額は、設定当初の金額です。

（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
（注４）分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。
（注５）当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

世界景気の減速や米中貿易摩擦への懸念などにより、先進国、新興国ともに国債利回りが低下（価格が上昇）したことはプラスに寄与したものの、2018年12月下旬にかけて下落した国内株式や先進国株式などがマイナスに寄与しました。また、主要通貨に対して円高が進行したことなどもマイナスに寄与し、基準価額は下落しました。

### ◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

| 組入ファンド | 騰落率 |
|---|---|
| Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅡ　Ａクラス | △1.9% |
| ＤＩＡＭマネーマザーファンド | △0.0% |

（注）Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅡ　Ａクラスの騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

## 投資環境

2018年10月以降、世界景気の減速や米中貿易摩擦への懸念が広がり、12月下旬にかけて世界同時株安の展開となりました。一方、国内債券や先進国債券は安全資産として買われ、価格が上昇（金利が低下）しました。2019年１月以降は、ＦＲＢ（米連邦準備理事会）が利上げの休止を示唆したことや行き過ぎた懸念への反動もあり、各国の株式市場は回復基調となりました。

為替市場では、世界景気の減速懸念や英国のＥＵ（欧州連合）離脱問題などの政治リスクが意識され、2018年12月末にかけて主要通貨に対して円高が進行しました。2019年１月以降、投資家のリスク回避姿勢が和らぎ、為替市場は比較的安定して推移し、米欧当局が金融緩和の継続を示唆したこともあり、円安の進行は限定的でした。

国内短期金融市場では、３ヵ月物国庫短期証券利回りは△0.3％台～△0.1％台で推移するなど、レンジ内での推移となりました。米国の金融引き締めのペースはやや鈍化しつつありますが、日本の金融政策には変化がないことから国内短期金融市場への影響は限定的でした。

## ポートフォリオについて

**●当ファンド**

Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅡ　Ａクラスの組入比率は原則として高位を維持し、ＤＩＡＭマネーマザーファンドへの投資も行いました。

**●Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅡ　Ａクラス**

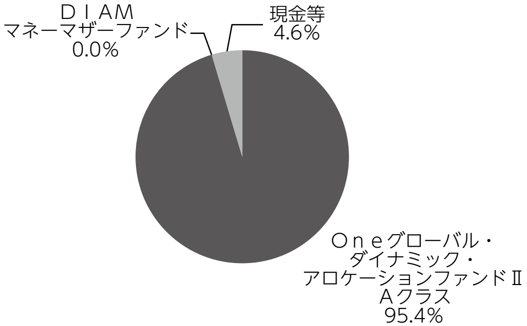
2018年10月以降、株価変動リスクの高まりや経済環境・市場環境の不透明感から株式等の収益追求資産およびハイイールド債券の比率を引き下げ、基準価額の下落抑制を図りました。2019年１月以降は、市場環境が堅調に推移したことなどから、株式等の収益追求資産の比率を引き上げ、相場回復の恩恵を享受しました。また、国内債券など利回りが低い資産については期を通じて配分を減らしています。

**●ＤＩＡＭマネーマザーファンド**

残存期間の短い政府保証債などで運用を行いました。

## ポートフォリオ構成（2019年３月15日現在）

※比率は純資産総額に対する割合です。



**分配金**

当作成期の収益分配金につきましては分配方針に基づき、第１期は無分配、第２期～第３期は以下の表の通りとさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

**■分配原資の内訳（１万口当たり）**

| 項目 | 第１期 | 第２期 | 第３期 |
|---|---|---|---|
| | 2018年９月28日～2018年11月15日 | 2018年11月16日～2019年１月15日 | 2019年１月16日～2019年３月15日 |
| 当期分配金（税引前） | －円 | 120円 | 120円 |
| 対基準価額比率 | －％ | 1.28％ | 1.24％ |
| 当期の収益 | －円 | 119円 | 120円 |
| 当期の収益以外 | －円 | 0円 | －円 |
| 翌期繰越分配対象額 | 486円 | 490円 | 498円 |

（注１）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
（注２）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第３位を四捨五入しています。
（注３）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

**今後の運用方針**

**●当ファンド**

引き続き、Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅡ　Ａクラスの組入比率は高位を維持します。また、ＤＩＡMマネーマザーファンドへの投資も行います。

**●Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅡ　Ａクラス**

世界の幅広い資産にバランス良く分散投資するとともに、状況に応じた適切な資産配分を行うことにより、基準価額の相対的に安定した値動きと収益の確保をめざします。

**●ＤＩＡMマネーマザーファンド**

日銀の金融政策の物価目標２％まではまだ距離があるため、当面は金融政策の据え置きが予想されています。今後もマイナス金利政策が継続されると考えられるため、政府保証債や地方債などを組入れた運用を行っていきます。

## ■１万口当たりの費用明細

| 項目 | 第１期〜第３期<br>(2018年９月28日<br>〜2019年３月15日)<br>金額 | 比率 | 項目の概要 |
|---|---|---|---|
| (ａ) 信託報酬 | 33円 | 0.349% | (ａ) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率<br>期中の平均基準価額は9,574円です。 |
| (投信会社) | (11) | (0.110) | 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 |
| (販売会社) | (22) | (0.225) | 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 |
| (受託銀行) | ( 1) | (0.015) | 受託銀行分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価 |
| (ｂ) その他費用 | 0 | 0.001 | (ｂ) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (監査費用) | ( 0) | (0.001) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 |
| 合計 | 34 | 0.350 | |

(注１) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注２) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注３) 比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
(注４) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

## ■売買及び取引の状況（2018年９月28日から2019年３月15日まで）

投資信託受益証券

| | | 第１期〜第３期 買付 口数 | 買付 金額 | 売付 口数 | 売付 金額 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| 外国(邦貨建) | Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅡ　Ａクラス | 447.758 | 4,289,000 | 20.938 | 190,396 |

(注) 金額は受渡代金です。

## ■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2018年９月28日から2019年３月15日まで）

| | 第１期〜第３期 設定 口数 | 設定 金額 | 解約 口数 | 解約 金額 |
|---|---|---|---|---|
| | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| ＤＩＡＭマネーマザーファンド | 99 | 100 | − | − |

## ■利害関係人との取引状況等（2018年９月28日から2019年３月15日まで）

### 【Ｏｎｅ世界分散セレクト（Ｃコース）における利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引等はありません。

### 【ＤＩＡＭマネーマザーファンドにおける利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引状況

| 決算期 | 第１期～第３期 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 区分 | 買付額等<br>A | うち利害関係人<br>との取引状況B | B／A | 売付額等<br>C | うち利害関係人<br>との取引状況D | D／C |
| | 百万円 | 百万円 | % | 百万円 | 百万円 | % |
| 公社債 | 343 | 202 | 58.9 | 200 | － | － |

平均保有割合　0.0%

（注）平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

## ■自社による当ファンドの設定・解約状況

| 期首残高（元本） | 当期設定元本 | 当期解約元本 | 期末残高（元本） | 取引の理由 |
|---|---|---|---|---|
| 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | |
| 1,500 | － | 500 | 1,000 | 当初設定時又は当初運用時における取得とその処分 |

## ■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

| ファンド名 | 第１作成期末 | | |
|---|---|---|---|
| | 口数 | 評価額 | 比率 |
| | 千口 | 千円 | % |
| Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅡ　Ａクラス | 426.82 | 3,856,745 | 95.4 |
| 合計 | 426.82 | 3,856,745 | 95.4 |

（注）比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

| | 第１作成期末 | |
|---|---|---|
| | 口数 | 評価額 |
| | 千口 | 千円 |
| ＤＩＡＭマネーマザーファンド | 99 | 99 |

## ■投資信託財産の構成

2019年３月15日現在

| 項目 | 第１作成期末 | |
|---|---|---|
| | 評価額 | 比率 |
| | 千円 | % |
| 投資信託受益証券 | 3,856,745 | 94.1 |
| ＤＩＡＭマネーマザーファンド | 99 | 0.0 |
| コール・ローン等、その他 | 242,523 | 5.9 |
| 投資信託財産総額 | 4,099,369 | 100.0 |

（注）評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第２位を四捨五入しています。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年11月15日)、 (2019年１月15日)、 (2019年３月15日)現在

| 項目 | 第１期末 | 第２期末 | 第３期末 |
|---|---|---|---|
| **(A) 資産** | **2,772,257,547円** | **3,843,348,983円** | **4,099,369,073円** |
| コール・ローン等 | 100,849,583 | 255,022,593 | 242,523,573 |
| 投資信託受益証券(評価額) | 2,671,307,964 | 3,588,226,400 | 3,856,745,520 |
| ＤＩＡＭマネーマザーファンド(評価額) | 100,000 | 99,990 | 99,980 |
| **(B) 負債** | **2,475,133** | **240,518,754** | **55,504,793** |
| 未払金 | － | 190,000,000 | － |
| 未払収益分配金 | － | 46,542,036 | 50,867,643 |
| 未払信託報酬 | 2,465,120 | 3,960,620 | 4,618,369 |
| その他未払費用 | 10,013 | 16,098 | 18,781 |
| **(C) 純資産総額(A－B)** | **2,769,782,414** | **3,602,830,229** | **4,043,864,280** |
| 元本 | 2,879,546,178 | 3,878,503,024 | 4,238,970,297 |
| 次期繰越損益金 | △109,763,764 | △275,672,795 | △195,106,017 |
| **(D) 受益権総口数** | **2,879,546,178口** | **3,878,503,024口** | **4,238,970,297口** |
| **１万口当たり基準価額(C／D)** | **9,619円** | **9,289円** | **9,540円** |

（注）設定当初の投資元本額は2,295,955,466円、当作成期間（第１期～第３期）中における追加設定元本額は2,453,782,353円、同解約元本額は510,767,522円です。

## ■損益の状況

| 項目 | 第1期<br>〔自 2018年9月28日<br>至 2018年11月15日〕 | 第2期<br>〔自 2018年11月16日<br>至 2019年1月15日〕 | 第3期<br>〔自 2019年1月16日<br>至 2019年3月15日〕 |
|---|---|---|---|
| **(A) 配当等収益** | **137,127,479円** | **50,184,524円** | **52,866,474円** |
| 受取配当金 | 137,152,000 | 50,201,060 | 52,878,800 |
| 受取利息 | 7 | 25 | 957 |
| 支払利息 | △24,528 | △16,561 | △13,283 |
| **(B) 有価証券売買損益** | **△227,648,605** | **△112,897,981** | **86,293,645** |
| 売買益 | 41,863 | 169,222 | 98,915,882 |
| 売買損 | △227,690,468 | △113,067,203 | △12,622,237 |
| **(C) 信託報酬等** | **△2,475,133** | **△3,976,718** | **△4,637,150** |
| **(D) 当期損益金(A＋B＋C)** | **△92,996,259** | **△66,690,175** | **134,522,969** |
| **(E) 前期繰越損益金** | **－** | **△92,739,088** | **△181,309,785** |
| **(F) 追加信託差損益金** | **△16,767,505** | **△69,701,496** | **△97,451,558** |
| (配当等相当額) | (5,358,638) | (56,376,714) | (93,275,736) |
| (売買損益相当額) | (△22,126,143) | (△126,078,210) | (△190,727,294) |
| **(G) 合計(D＋E＋F)** | **△109,763,764** | **△229,130,759** | **△144,238,374** |
| **(H) 収益分配金** | **－** | **△46,542,036** | **△50,867,643** |
| **次期繰越損益金(G＋H)** | **△109,763,764** | **△275,672,795** | **△195,106,017** |
| 追加信託差損益金 | △16,767,505 | △69,701,496 | △97,451,558 |
| (配当等相当額) | (5,358,638) | (56,376,714) | (93,275,736) |
| (売買損益相当額) | (△22,126,143) | (△126,078,210) | (△190,727,294) |
| 分配準備積立金 | 134,652,424 | 133,945,919 | 118,145,459 |
| 繰越損益金 | △227,648,683 | △339,917,218 | △215,799,918 |

（注1）(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
（注2）(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
（注3）(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
（注4）分配金の計算過程

| 項目 | 第1期 | 第2期 | 第3期 |
|---|---|---|---|
| (a) 経費控除後の配当等収益 | 134,652,424円 | 46,207,897円 | 51,104,898円 |
| (b) 経費控除後の有価証券売買等損益 | 0 | 0 | 0 |
| (c) 収益調整金 | 5,358,638 | 56,376,714 | 93,275,736 |
| (d) 分配準備積立金 | 0 | 134,280,058 | 117,908,204 |
| (e) 当期分配対象額(a+b+c+d) | 140,011,062 | 236,864,669 | 262,288,838 |
| (f) 1万口当たり当期分配対象額 | 486.23 | 610.71 | 618.76 |
| (g) 分配金 | 0 | 46,542,036 | 50,867,643 |
| (h) 1万口当たり分配金 | 0 | 120 | 120 |

## ■分配金のお知らせ

| 決　　算　　期 | 第　1　期 | 第　2　期 | 第　3　期 |
|---|---|---|---|
| 1万口当たり分配金 | ー円 | 120円 | 120円 |

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

**分配金の課税上の取扱いについて**

・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。

　○分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。

　○分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

＜補足情報＞

**■Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅡの内容**

Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅡは、Ｏｎｅ世界分散セレクト（Ｃコース）の決算日時点でアニュアルレポートが発行されていないため、費用の内訳等のデータはございません。

以下は、Ｏｎｅ世界分散セレクト（Ｃコース）が投資を行っているＯｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅡの現地2019年３月15日現在の有価証券明細です。

| 銘柄分類 | | | 通貨 | 評価額（円） |
|---|---|---|---|---|
| COMMON STOCKS | | | | |
| | Commodity | | | |
| | | INVESCO DB OIL FUND | U.S. DOLLAR | 110,660,085 |
| | | ISHARES GOLD TRUST | U.S. DOLLAR | 107,325,331 |
| | | Commodity　小計 | | 217,985,416 |
| | Corp/Pref-High Yield | | | |
| | | ISHARES USD SHORT | U.S. DOLLAR | 455,320,392 |
| | | Corp/Pref-High Yield　小計 | | 455,320,392 |
| | Emerging Market-Debt | | | |
| | | ISHARES JPM EM BND | U.S. DOLLAR | 644,827,517 |
| | | Emerging Market-Debt　小計 | | 644,827,517 |
| | Exchange Traded Fund | | | |
| | | ISHARES GLOBAL REIT | U.S. DOLLAR | 326,396,707 |
| | | Exchange Traded Fund　小計 | | 326,396,707 |
| | Geo Focus-Debt | | | |
| | | ISHARES HIGH YLD COR | EURO | 286,103,755 |
| | | Geo Focus-Debt　小計 | | 286,103,755 |
| | | **COMMON STOCKS　合計** | | **1,930,633,787** |
| FUND LEVEL | | | | |
| | EUR FORWARD | | | |
| | | EUR FW | EURO | △145,377,758 |
| | | EUR FORWARD　小計 | | △145,377,758 |
| | GBP FORWARD | | | |
| | | GBP FW | BRITISH POUND | 19,207,411 |
| | | GBP FORWARD　小計 | | 19,207,411 |
| | USD FORWARD | | | |
| | | USD FW | U.S. DOLLAR | △465,435,899 |
| | | USD FORWARD　小計 | | △465,435,899 |
| | | **FUND LEVEL　合計** | | **△591,606,246** |

| 銘柄分類 | | | 通貨 | 評価額（円） |
|---|---|---|---|---|
| FUTURES | | | | |
| | FUTURES | | | |
| | | EURO BTP ITALIAN | EURO | 1,529,075 |
| | | EURO STOXX 50 | EURO | 4,507,611 |
| | | EURO-BUND 10 YR FUT | EURO | 419,548 |
| | | EURO-OAT FUTURE | EURO | 1,718,629 |
| | | LONG GILT FUTURE | BRITISH POUND | △85,917 |
| | | MSCI EMG MKT IND FUT | U.S. DOLLAR | 3,655,197 |
| | | S&P 500 EMINI FUT | U.S. DOLLAR | 4,354,214 |
| | | TOPIX INDEX FUTURE | JAPANESE YEN | △1,847,700 |
| | | US 10YR NOTE FUTURE | U.S. DOLLAR | 1,167,214 |
| | | FUTURES　小計 | | 15,417,871 |
| | MARGIN | | | |
| | | EUR MARGIN | EURO | 49,895,852 |
| | | GBP MARGIN | BRITISH POUND | 2,649,203 |
| | | JPY MARGIN | JAPANESE YEN | 30,924,000 |
| | | USD MARGIN | U.S. DOLLAR | 63,227,977 |
| | | MARGIN　小計 | | 146,697,032 |
| | | **FUTURES　合計** | | **162,114,903** |
| FX CASH BALANCES | | | | |
| | UnGrouped Security | | | |
| | | BRITISH POUNDS | BRITISH POUND | 5,519,246 |
| | | EURO | EURO | 71,707,413 |
| | | UNITED STATES DOLLAR | U.S. DOLLAR | 79,216,296 |
| | | UnGrouped Security　小計 | | 156,442,955 |
| | | **FX CASH BALANCES　合計** | | **156,442,955** |
| | | **ポートフォリオ合計** | | **1,657,585,399** |

（注１）米国みずほ銀行のデータをもとに、アセットマネジメントＯｎｅが作成したものです。
（注２）上記明細は、Ｏｎｅ世界分散セレクト（Ｃコース）が投資対象とするＯｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅡ全体の内容です。

# ＤＩAMマネーマザーファンド

## 運用報告書

### 第９期（決算日　2018年４月５日）

### （計算期間　2017年４月６日～2018年４月５日）

ＤＩAMマネーマザーファンドの第９期の運用状況をご報告申し上げます。

**当ファンドの仕組みは次の通りです。**

| | |
|---|---|
| 信託期間 | 2009年10月29日から無期限です。 |
| 運用方針 | 安定した収益の確保をめざします。 |
| 主要投資対象 | 国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにＣＤ、ＣＰ、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。 |
| 主な組入制限 | 株式への投資割合は、純資産総額の10％以下とします。<br>外貨建て資産への投資は行いません。 |

**■最近５期の運用実績**

| 決算期 | 基準価額 | | 債券組入比率 | 新株予約権付社債(転換社債) | 債券先物比率 | 純資産総額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 期中騰落率 | | | | |
| | 円 | ％ | ％ | ％ | ％ | 百万円 |
| ５期(2014年４月７日) | 10,080 | 0.1 | 93.9 | － | － | 10,998 |
| ６期(2015年４月６日) | 10,090 | 0.1 | 82.8 | － | － | 9,524 |
| ７期(2016年４月５日) | 10,098 | 0.1 | 80.6 | － | － | 3,158 |
| ８期(2017年４月５日) | 10,104 | 0.1 | 71.2 | － | － | 1,045 |
| ９期(2018年４月５日) | 10,099 | △0.0 | 71.1 | － | － | 1,030 |

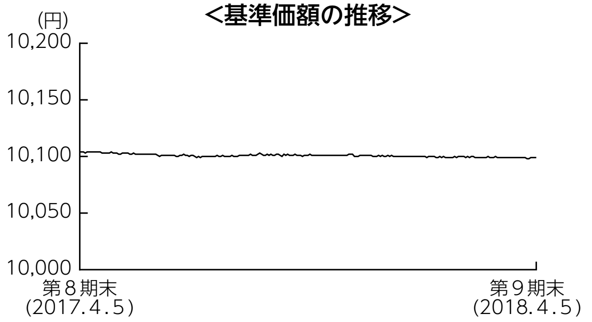
（注１）債券先物比率は、買建比率－売建比率です。
（注２）当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。
（注３）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

## ■当期中の基準価額の推移

| 年月日 | 基準価額 | 騰落率 | 債券組入比率 | 新株予約権付社債(転換社債)組入比率 | 債券先物比率 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 円 | % | % | % | % |
| (期首)<br>2017年4月5日 | 10,104 | － | 71.2 | － | － |
| 4月末 | 10,104 | 0.0 | 71.2 | － | － |
| 5月末 | 10,102 | △0.0 | 80.2 | － | － |
| 6月末 | 10,100 | △0.0 | 77.9 | － | － |
| 7月末 | 10,100 | △0.0 | 76.1 | － | － |
| 8月末 | 10,102 | △0.0 | 56.9 | － | － |
| 9月末 | 10,101 | △0.0 | 65.2 | － | － |
| 10月末 | 10,101 | △0.0 | 77.6 | － | － |
| 11月末 | 10,100 | △0.0 | 77.6 | － | － |
| 12月末 | 10,100 | △0.0 | 70.1 | － | － |
| 2018年1月末 | 10,100 | △0.0 | 70.1 | － | － |
| 2月末 | 10,099 | △0.0 | 79.5 | － | － |
| 3月末 | 10,098 | △0.1 | 71.1 | － | － |
| (期末)<br>2018年4月5日 | 10,099 | △0.0 | 71.1 | － | － |

（注１）騰落率は期首比です。
（注２）債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

## ■当期の運用経過（2017年４月６日から2018年４月５日まで）




### 基準価額の推移

当期末の基準価額は10,099円となり、前期末比で0.05％下落しました。

### 基準価額の主な変動要因

日銀のマイナス金利政策の影響により残存期間の短い政府保証債等の利回りが上昇（価格は下落）したことから、基準価額は下落しました。

### 投資環境

国内短期金融市場では、３ヵ月国庫短期証券利回りは△0.25％～△0.09％で推移しました。2017年８月から11月末の間には需給要因から利回りが上下する局面もありましたが、概ね△0.15％を中心としたレンジで推移しました。

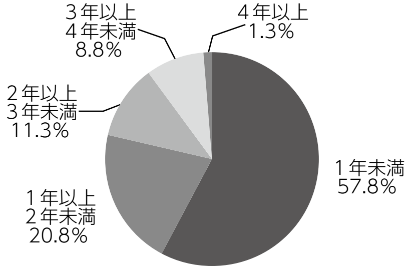
### ポートフォリオについて

残存期間の短い政府保証債を中心とした運用を行いました。

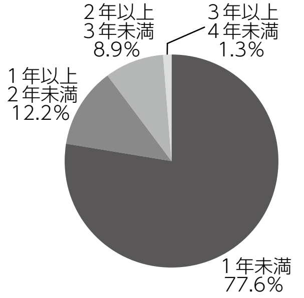
**【運用状況】** ※比率は組入債券の時価評価額に対する割合です。

**○残存年限別構成比**

**期首（前期末）**




**当期末**




### 今後の運用方針

日銀の金融政策の物価目標２％までは依然として距離があるため、当面は政策の据え置きが予想されます。マイナス金利政策が継続されると考えられるため、政府保証債や地方債などを中心に運用を行います。

## ■１万口当たりの費用明細
計算期間中に発生した費用はありません。

## ■売買及び取引の状況（2017年４月６日から2018年４月５日まで）
公社債

| | | 買　付　額 | 売　付　額 |
|---|---|---|---|
| | | 千円 | 千円 |
| 国　内 | 国債証券 | 300,097 | 100,016<br>(200,000) |
| | 地方債証券 | 17,719 | －<br>(68,770) |
| | 特殊債券 | 405,052 | －<br>(360,000) |

（注１）金額は受渡代金です（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）（　）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

## ■利害関係人との取引状況等（2017年４月６日から2018年４月５日まで）
期中の利害関係人との取引等はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

## ■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

| 区分 | 当期末 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 額面金額 | 評価額 | 組入比率 | うちBB格以下組入比率 | 残存期間別組入比率 | | |
| | | | | | 5年以上 | 2年以上 | 2年未満 |
| | 千円 | 千円 | % | % | % | % | % |
| 地方債証券 | 130,780 | 131,175 | 12.7 | − | − | 2.8 | 10.0 |
| 特殊債券 | 595,000 | 601,037 | 58.3 | − | − | 4.5 | 53.8 |
| 合計 | 725,780 | 732,213 | 71.1 | − | − | 7.3 | 63.8 |

（注）組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第２位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

| 銘柄 | 当期末 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 利率 | 額面金額 | 評価額 | 償還年月日 |
| **(地方債証券)** | % | 千円 | 千円 | |
| ２５年度６回　静岡県公募公債 | 0.3420 | 13,250 | 13,265 | 2018/08/23 |
| ２５年度　京都府京都みらい債 | 0.3000 | 6,000 | 5,999 | 2018/09/03 |
| ２５年度１回　ぐんま県民債 | 0.2600 | 4,000 | 3,998 | 2018/10/30 |
| 2回　東京都公募公債（東京グローバル都債（円貨）） | 0.1200 | 5,000 | 4,996 | 2018/12/07 |
| ２５年度８回　福岡県公募公債 | 0.2700 | 6,700 | 6,696 | 2018/12/25 |
| ２６年度４回　静岡県公募公債 | 0.2090 | 14,810 | 14,842 | 2019/06/24 |
| ２６年度１回　大阪市みおつくし債 | 0.2200 | 6,000 | 5,992 | 2019/06/27 |
| ２１年度６回　愛知県公募公債 | 1.4400 | 10,000 | 10,185 | 2019/07/30 |
| ２６年度　京都府京都みらい債 | 0.1600 | 9,200 | 9,179 | 2019/09/02 |
| ３３１回　大阪府公募公債 | 1.4100 | 10,000 | 10,216 | 2019/10/29 |
| ２６年度７回　福岡県公募公債 | 0.2000 | 6,500 | 6,486 | 2019/12/25 |
| ４３回　川崎市公募公債　５年 | 0.1370 | 10,850 | 10,872 | 2020/03/19 |
| ２７年度２回　千葉県公募公債 | 0.1770 | 14,670 | 14,715 | 2020/05/25 |
| ２７年度　京都府京都みらい債 | 0.1000 | 13,800 | 13,726 | 2020/09/02 |
| 小計 | − | 130,780 | 131,175 | − |
| **(特殊債券)** | % | 千円 | 千円 | |
| １９４回　政保中小企業債券 | 1.5000 | 100,000 | 100,695 | 2018/09/18 |
| 1回　政保地方公営企業金融機構債券 | 1.6000 | 100,000 | 100,865 | 2018/10/16 |
| １９９回　政保預金保険機構債券 | 0.1000 | 100,000 | 100,068 | 2018/10/16 |
| ７１回　政保日本高速道路保有・債務返済機構 | 1.4000 | 100,000 | 101,033 | 2018/12/25 |
| １５回　政保東日本高速道路債券 | 1.3000 | 100,000 | 101,187 | 2019/02/25 |
| ５５回　政保関西国際空港債 | 1.3000 | 29,000 | 29,373 | 2019/03/25 |

| 銘柄 | 当期末 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 利率 | 額面金額 | 評価額 | 償還年月日 |
| **（特殊債券）** | % | 千円 | 千円 | |
| ８９回　政保日本高速道路保有・債務返済機構 | 1.3000 | 4,000 | 4,079 | 2019/09/30 |
| ９３回　政保日本高速道路保有・債務返済機構 | 1.4000 | 8,000 | 8,189 | 2019/11/29 |
| １００回　政保日本高速道路保有・債務返済機構 | 1.4000 | 9,000 | 9,244 | 2020/02/28 |
| １１２回　政保日本高速道路保有・債務返済機構 | 1.1000 | 30,000 | 30,786 | 2020/07/31 |
| １１７回　政保日本高速道路保有・債務返済機構 | 1.0000 | 6,000 | 6,153 | 2020/09/30 |
| １３３回　政保日本高速道路保有・債務返済機構 | 1.3000 | 5,000 | 5,203 | 2021/04/30 |
| １３７回　政保日本高速道路保有・債務返済機構 | 1.2000 | 4,000 | 4,158 | 2021/06/30 |
| 小計 | － | 595,000 | 601,037 | － |
| 合計 | － | 725,780 | 732,213 | － |

## ■投資信託財産の構成

2018年４月５日現在

| 項目 | 当期末 | |
|---|---|---|
| | 評価額 | 比率 |
| | 千円 | % |
| 公社債 | 732,213 | 71.1 |
| コール・ローン等、その他 | 298,257 | 28.9 |
| 投資信託財産総額 | 1,030,471 | 100.0 |

（注）評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第２位を四捨五入しています。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年４月５日)現在

| 項　　　　　　　　　目 | 当　　期　　末 |
|---|---|
| **(A) 資　　　　　　　　産** | **1,030,471,057円** |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 | 296,878,113 |
| 公　　社　　債(評価額) | 732,213,335 |
| 未　　収　　利　　息 | 1,083,993 |
| 前　　払　　費　　用 | 295,616 |
| **(B) 負　　　　　　　　債** | **－** |
| **(C) 純 資 産 総 額(A－B)** | **1,030,471,057** |
| 元　　　　　　　　本 | 1,020,388,428 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 | 10,082,629 |
| **(D) 受 益 権 総 口 数** | **1,020,388,428口** |
| **１万口当たり基準価額(C／D)** | **10,099円** |

(注１) 期首元本額　1,034,991,821円
追加設定元本額　5,445,811円
一部解約元本額　20,049,204円
(注２) 期末における元本の内訳

| | |
|---|---|
| クルーズコントロール | 990,000,991円 |
| ダイナミック・ナビゲーション | 98,711円 |
| ＤＩAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<円コース> | 870,000円 |
| ＤＩAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<豪ドルコース> | 530,000円 |
| ＤＩAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース> | 70,000円 |
| ＤＩAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース> | 10,530,000円 |
| 世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ（毎月分配型）<円コース> | 1,281,836円 |
| 世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ（毎月分配型）<豪ドルコース> | 246,797円 |
| 世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ（毎月分配型）<ブラジルレアルコース> | 1,689,581円 |
| 世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ（毎月分配型）<中国元コース> | 654,944円 |
| ＤＩAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<中国元コース> | 149,716円 |
| ネット証券専用ファンドシリーズ　新興市場日本株　レアル型 | 103,986円 |
| ＤＩAM　グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド　資源国通貨バスケットコース | 4,486,988円 |
| ＤＩAM　グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド　ブラジルレアルコース | 4,586,699円 |
| ＤＩAM　グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド　円コース | 997,109円 |
| ＤＩAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<米ドルコース> | 5,972円 |
| ＤＩＡＭ　米国リート・インカムプラス | 994,728円 |
| ＵＳストラテジック・インカム・ファンドAコース（為替ヘッジあり） | 993,740円 |
| ＵＳストラテジック・インカム・ファンドBコース（為替ヘッジなし） | 1,987,479円 |
| ＤＩAM－ジャナス　グローバル債券コアプラス・ファンド<DC年金> | 9,935円 |
| みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー（通貨選択型）円コース | 9,925円 |
| みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー（通貨選択型）米ドルコース | 9,925円 |
| みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー（通貨選択型）豪ドルコース | 9,925円 |
| みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー（通貨選択型）メキシコペソコース | 9,925円 |
| みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー（通貨選択型）トルコリラコース | 9,925円 |
| みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー（通貨選択型）ブラジルレアルコース | 9,925円 |
| ＵＳストラテジック・インカム・ファンド（年１回決算型）ヘッジあり | 9,924円 |
| ＵＳストラテジック・インカム・ファンド（年１回決算型）ヘッジなし | 9,924円 |
| 米国株式リスクコントロール戦略ファンド<為替ヘッジあり> | 9,909円 |
| 米国株式リスクコントロール戦略ファンド<為替ヘッジなし> | 9,909円 |
| 期末元本合計 | 1,020,388,428円 |

## ■損益の状況

当期　自2017年４月６日　至2018年４月５日

| 項　　　　　　　目 | 当　　　　期 |
|---|---|
| **(A) 配　当　等　収　益** | **6,427,083円** |
| 受　　取　　利　　息 | 6,637,040 |
| 支　　払　　利　　息 | △209,957 |
| **(B) 有 価 証 券 売 買 損 益** | **△6,932,206** |
| 売　　　買　　　益 | 21,813 |
| 売　　　買　　　損 | △6,954,019 |
| **(C) 当　期　損　益　金(A＋B)** | **△505,123** |
| **(D) 前 期 繰 越 損 益 金** | **10,735,046** |
| **(E) 解　約　差　損　益　金** | **△201,483** |
| **(F) 追 加 信 託 差 損 益 金** | **54,189** |
| **(G) 合　　　計(C＋D＋E＋F)** | **10,082,629** |
| **次 期 繰 越 損 益 金(G)** | **10,082,629** |

(注１) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注２) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。
(注３) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

**《お知らせ》**

■つみたてＮＩＳＡの要件を満たすため、約款に所要の変更を行いました。

(平成29年９月29日)

■信用リスクを適正に管理する方法を規定する所要の約款変更を行いました。

(平成30年３月１日)